悪い者からお守りください 詩篇 140:1-13	2023.3.26、庄、丘 NO.696 春日部福音自由教会　山田豊

本詩篇は、詩篇６４と同じように、苦しみの中にある詩人の叫び、祈りです。皆様にも、この詩篇と共感するところが多くあると思います。

最近のニュースでは、白昼堂々と人家に入り込み、実に手荒な方法で住民を傷つけ、金品を奪うという強盗、強奪事件が起きていると伝えています。悪い人たちから自分を守るために、いろいろな手立てを講じなければならない、いやな時代になりました。

悪い者というのは、蛇のように狡猾で、その悪さはマムシの毒のように人に害悪をもたらし、人を死にさえ追いやることもあります。さらに、罠を作ってそこに陥れ、落とされた人を上から見て、あざけっているような者です。

このような悪者から解放され、彼らが懲らしめられることを願うのは、自然なことです。「頭」という言葉が出てきますが、７節では「覆ってください」と書かれています。直訳すれば、頭にヘルメットをかぶり、転倒した時などに頭を守るように、私を守ってくださいという願いです。それに対して、９，１０節には、悪者の頭に燃える炭火が降りかかるようにと、書かれています。自分の頭に燃え盛る炭火が降ってきたら、大変なことになります。そのように、悪人に神様の罰を下さすようにとの、これまたごく自然な願いでしょう。

フランシスコ会訳聖書には、本編の表題が「悪人に自業自得を求める祈り」とありました。自分のした悪いことの報いを、その身に受けることを願っているのであって、詩人がその悪者に直接手を下すことはしないのです。身を守るためのヘルメットをかぶるのです。それはイザヤ 59:17、エペソ 6:17 にあるように、救いの兜なのです。

本詩篇から黙想して思い浮かんだのは、弟子たちとすごした、過ぎ越しの食事でのイエスの祈りです。ヨハネ１７は、大祭司であるイエスの祈りともいわれています。

わたしがお願いすることは、あなたが彼らをこの世から取り去ることではなく、悪い者から守ってくださることです。(ヨハネ 17:15)

苦難の中にあると、そこから私を取り去ってほしいと切に願います。しかしイエスは、苦難の道からそれることなく、その道を進んでいかれたのです。父なる神の守りがあることを、信じていたからでした。十字架への道行きは、神の守りがあることを私たちにも教えてくれるためでした。

引用聖句

イザヤ 59:17　主は義をよろいのように着て、救いのかぶとを頭にかぶり、復讐の衣を身にまとい、ねたみを外套として身をおおわれた。

エペソ 6:17　救いのかぶとをかぶり、御霊の剣、すなわち神のことばを取りなさい。

ヨハネ 17:11　わたしはもう世にいなくなります。彼らは世にいますが、わたしはあなたのもとに参ります。聖なる父よ、わたしに下さったあなたの御名によって、彼らをお守りください。わたしたちと同じように、彼らが一つになるためです。

ヨハネ 17:15　わたしがお願いすることは、あなたが彼らをこの世から取り去ることではなく、悪い者から守ってくださることです。

ヨハネ 17:17　真理によって彼らを聖別してください。あなたのみことばは真理です。

ヨハネ 17:24　父よ。わたしに下さったものについてお願いします。わたしがいるところに、彼らもわたしとともにいるようにしてください。わたしの栄光を、彼らが見るためです。世界の基が据えられる前からわたしを愛されたゆえに、あなたがわたしに下さった栄光を。

ピリピ 1:22-24　しかし、肉体において生きることが続くなら、私の働きが実を結ぶことになるので、どちらを選んだらよいか、私には分かりません。23 私は、その二つのことの間で板ばさみとなっています。私の願いは、世を去ってキリストとともにいることです。そのほうが、はるかに望ましいのです。24 しかし、この肉体にとどまることが、あなたがたのためにはもっと必要です。

ニホンマムシの毒成分(生物モラトリアムの HP より)

・ブラジキニンを遊離する酵素
　作用：末梢血管の血管拡張を行い血圧を降下させる
・ホスホリパーゼ A2
　作用：溶血作用に関与する
・トロンビン様酵素
　作用：細胞膜を溶解する酵素や血液凝固系に作用する
・アリルアシターゼ(タンパク質分解酵素)
　作用：咬傷部分の骨格筋変性に作用する
・エンドペプチダーゼ(タンパク質分解酵素)
　作用：アリルアシターゼと同様
・出血因子

作用：毛細血管に作用して体内出血を誘発する

成分や作用を見るとマムシの毒は攻撃するためにあるわけではなく、捕まえた餌を消化しやすくためにあるものだとわかりますね。マムシの毒は基本的に出血毒で少量の神経毒が含まれています。